



SHOW ROOM NEW OPEN



## 古いものに新しい価値を与え生まれ変わる リノベーションのこだわりが息づくショールーム

宮城県を中心に新築からデザインリフォーム、本格リノベーションまで、住む人のライフスタイルに合わせた“世界に1棟の家づくり”を手がけるSTAP。国道4号線沿いにひととき目をひくガラス張りのモダンな建物は、築50年以上の建物を全面リノベーションした同社のショールームです。その斬新なショールームの全容と、同社のリノベーションに対する独自の取り組みをご紹介します。



音響関係の工房が設備を担当したシアタールームは、セミナーやスタッフ向けの勉強会にも使われる

## 自由な発想を育む オフィス兼ショールーム

仙台市中心部から北へ約5キロ。国道4号線沿いに佇むカフェを思わせる洗練された建物が、2017年2月に完成したSTAPのショールームです。建物に入るとオープンな空間が広がり、古材やアイアン、天井のむき出しの配管、温かな明かりなどがインダストリアルな趣を醸し出しています。中央には存在感のあるメインテーブル、窓際にはガラスに囲まれた打ち合わせスペースやカフェ風のソファ席などがゆったりと配置されています。

全面リノベーションの良さを生かして古い建物を旬のスタイルに生まれ変わらせたこともさることながら、驚くのは空間の使い方。スタッフが好きな場所でコーヒーを飲みながら、パソコン作業をしたり、図面を描いたり、ゲストと打ち合わせをしたり、自由なスタイルで仕事をしています。ときには、アパレルの展示会や映画の試写会をやることも。「ここは自由な発想が広がるフリーオフィスであり、ショールームです」と語るのは、代表取締役社長の大川勝さん。「ここに来るといろいろなものが見られる、何か面白いことをやっていると期待されるような、情報発信の場所にしたいですね」。

「このショールームのもう一つの特徴は人材確保の場であること」と大川さんが語るように、この空間には、交流のあるインテリアアコーデイナーや空間デザイナー、家具会社、音響関係の工房などの技術やアイデアがふんだんに盛り込まれています。デザイ

ンではなく、家づくりの考え方や会社の姿勢を見せる、ショールームの概念を超えたショールームなのです。

また、STAPではショールームのみならず、新築、リノベーションにおいても外部のインテリアアコーデイナーや空間デザイナーらを積極的に起用しており、「よりいいものを創るために、その道の優秀なプロと組んで多角的にトータルな空間の提案をしていく」という姿勢を貫いています。次の頁では、そんなSTAPのリノベーションについてのオリジナルな発想を見ていきましょう。



ショールームの一角で大川社長(写真中央)がクライアントと打ち合わせ中



住まい手のライフスタイルに合わせて創りあげる、STAPのリノベーション

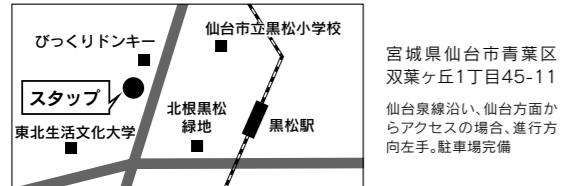


BEFORE

リノベーション前の  
ショールーム



AFTER



宮城県仙台市青葉区  
双葉ヶ丘1丁目45-11  
仙台泉線沿い、仙台方面  
からアクセスの場合、進行方  
向左手。駐車場完備

STAP Inc. スタッフ株式会社

本社

☎ 0120-225-545 🌐 <http://stap.co.jp/>  
〒981-0924 宮城県仙台市青葉区双葉ヶ丘1丁目45-11

SHOP DATA ☎ 0120-225-545  
OPEN.10:00 ~ CLOSE.18:00 (水曜・隔週木曜定休)

## 家づくりを考えはじめたら、 「新築・リフォーム 家づくり相談会」へ



「何から始めたらいいの?」「家づくりの流れは?」「いくらで建てられるの?」家づくりの疑問に、設計士がわかりやすくお答えする無料相談会を開催中です。

「こんなこと聞いてもいいのかな?」といった気兼ねや遠慮は一切不要。いろいろとお話しながら、疑問を解決しましょう。相談会の会場である

ショールームでは、最新の施工事例写真も多数ご覧いただけます。スタッフの設計力や提案力、デザイン力をチェックしながら、家づくりの参考にしてください。

家づくりを進めるための資金や土地、インテリアなど、各種のセミナーも随時開催していますので、ぜひお問い合わせください。

「新築・リフォーム 家づくり相談会」のお申し込みはこちらから  
<http://stap.co.jp/consultation/home/>



## 暮らしに合わせたリノベで 新たな付加価値を与える

「リフォーム・リノベーションは主に3種類に分かれます」と話す大川さん。ひとつはリフレッシュ&リペアのためのもの、2つめは性能や機能性を向上させ住みやすくするもの、そして新しい価値観を与えるものです。

STAPが追求するリノベーションは「完全に新しい価値観を与えるもの」です。「デザインありきの『リフォーム』はおすすりません。住んでいた家をリノベーションするならば、不満な点をフォーカスして性能を上げていきます。中古物件を買ってリノベーションをする場合は、家族構成と生活スタイルに合わせて提案をします」。家族の暮らしに合うオーダーメイド住宅をつくる点は新築と同じですが、リノベーションの場合は本来に必要な場所に、必要なだけ、必要なものを加え創り上げることが大事にしているとのこと。

## 家具や収納も予め計画し ライフスタイルを提案

「家づくりは土地、デザイン、間取り、家具、ライフスタイルという順に進めていくことが多いと思いますが、私たちの優先順位はまったく逆です」と大川さんが語るように、リノベーションもあくまでライフスタイルが優先で、そのために家具提案も一緒に行っています。「どんな生活スタイルをしたいかを突きつめると家具に行き着きます。例えば自分が座りたいソファや置きたいダイニングテーブル

があつて、それに合わせて設計士が家を創るんです。収納も、設計段階からプランに組みます。家にしようものを全部書き出し、しまわスペースを使いやすい場所を考えて収納を計画。その際は、設計士とともに、外部のインテリアコーディネーターが関わります。また、外部クリエイターとのコラボレーションという点で特筆したいのは、ホームシアターです。ホームシアターで500件以上の実績を持つBudscene社と組んで、壁内配線から設置位置など決めて、臨場感ある5・1chサラウンドのホームシアターを実現し、大人世代のご夫妻などに喜ばれています。また、二世帯住宅のリノベーションの相談も多く、10年先、20年先のライフスタイルの変化を見据えて、ときには新築とリノベーションの両方の案を提案しています。

## 厳しい品質検査と透明性も STAPのこだわり

STAPは創業から25年、生活提案を基礎にしたスケルトンリノベーションの経験も豊富です。SNSなどに設計士と施工主だけが入れる部屋を設け、打ち合わせをスムーズに行い、着工後は毎日そこで工事の進捗状況を伝えるなど、施工主と細やかで透明性の高い関係性を築いています。また、自社の施工力を上げるために第三者機関による厳しい住宅品質検査を導入しています。

ライフスタイルに合わせたリノベーションを、各分野のプロが計画的に創り新しい価値を生み出す、それが四半世紀お客様に選ばれ続けてきたSTAP独自のリノベーションです。